

ウサヒ大漁?? 「八つ沼主釣り(ヌシづり)編 2」

ウサヒ大漁?? 「八つ沼主釣り(ヌシづり)編 2」

政策推進課持ち込み企画である「沼のヌシ釣り企画」を実行しようと、

八つ沼地区の春日沼にやってきたウサヒと同僚のサタケ君。

「沼のヌシ釣り企画」とは

朝日町には釣りが楽しめる沼が各所にあるので、

周囲の自然をレポートしながら、その沼に棲む大きめの魚（沼のヌシ）を

釣り上げようという、冒険心あふれる企画です。

はたして、沼のヌシはつれるのでしょうか…



いよいよ2人のヌシ釣りがスタート

ちなみに、春日沼にどれくらい魚がいるかというと



軽快に泳ぐオイカワたち

けっこういます。

ウサビ 「うおお、すごい、魚が見えるよ。これはものすごく釣れちゃうんじゃない??」

サタケ君 「僕も、なんだかものすごく釣れそうな気がしてきたよ。」

(実際のところ、サタケ君も沼釣りに来るのは高校生の時以来らしい…)



入れ食いの予感に胸が高まる

5分経過



座っているのに飽きた

10分経過



場所を変えてみる

20 分後



落ち着きのない着ぐるみの末路

ウサヒ 「…魚は見えるのに全然つれない…」

サタケ君 「ヌシを釣るところか、雑魚(ザコ)もかからない…」

2人が不安にかられだしたその時でした。



見えますか？糸の先にいます！

サタケ君「あ、なんか普通に釣れた。」

サタケ君に本日初のヒット。

釣れたのはオイカワという魚でした。



本日初の獲物

中の人「く、サタケ君に先を越された！！」

(現在、中の方は桃色ウサヒを脱いでいます)

サタケ君「まゝ、これが実力の差ですね……あ、またきた！！」



間髪入れずにまさかの2匹目！！

次に釣れたのはフナです



中の人「悔しい！！年下の同僚に手も足も出ない……」

サタケ君「どうやら今後、僕には敬語を使っていただくようになりそうですね……ウサヒ先輩」

中の人「うう……負けを、負けを認めざるえないのか……」

サタケ君「まったく、ウサヒさんは、さっきから竿上げるのがはやいんですよ。

ちゃんと沈んでからあげなくちゃ……」

中の人「それだ！！！」

サタケ君のアドバイスを素直に受け止めた結果がコレだよ！！



オイカワ、ゲットだぜ！！

教訓「ウキはきちんと沈んだら上げる」



「このオイカワ、オレが釣ったんだぜ！！」

となると…次にやりたいことといえば…

「ウサヒを着て魚を釣りたい！！」

そんな思いのもと、再びウサヒを着込んだ中の人。

曇り空ゆえに、気温も湿度もかなり高い。

しかし、われわれは、夢をあきらめない！



あきらめたらそこで試合終了なのだ…

かくして、再び熱い戦い(服装的な意味で)が始まった！

なかなか釣れないのを見かねて、

この日のカメラ担当の人は周囲の散歩にでかけてしまいました。



今、春日沼はハスが満開です。



一瞬、田沢湖にあるアレかと思いますが、

「弥生姫像」といいます。沼の守り神。



こちらは春日神社

このように、春日沼の周りには見所のスポットがたくさんあります。

各スポットの詳細情報はエコミュージアム HP の紹介をご覧ください。



ゆっくり歩いても 30 分もかからずにぐるっと 1 周出来ます。

また、魚以外の生き物も沼の周りにはたくさん。



カメラの人一押しというカナヘビ(カナチョロ)の写真



沼面にはトンボがたくさん飛んでいました

30分経過。



まだ釣れる様子なし

サタケ君 「そろそろ帰りますか……」

ウサヒ 「……飛び込んで手づかみした方がいいかも……」

ウサヒが、暴挙にどうか迷っていると……

ウサヒ 「うぉぉ！き、きたよサタケ君。アミ！！」

ウサヒに奇跡のあたりが！

すかさずサタケ君にアミを要求

サタケ君 「(アミを使うほど大物じゃないのになぁ……)」

()内は心の声です



こういうのは雰囲気から大事ですからね

ウサビ「よっしゃ！フナ Get！！！」



見事にフナの釣り上げに成功



急いで戻ってきたカメラの人に、サタケ君とツーショットで撮ってもらう。

まあ、写真を見てわかるとおり、かなり小さいフナでした。

着ぐるみで釣り上げた感動を分かち合っている、

ウウウウウウウウウウウ！！

朝日町名物 11 時 30 分を告げるサイレンが春日沼にも響き渡りました。

ウサビ 「帰ろっか？おなか空いたし。」

サタケ君 「そうですね。僕も 13 時から友だちとの約束もあるんで・・・」

こうして、我々の「沼のヌシ釣り企画」の第 1 回目は釣果 4 匹で終了したのでした。

帰りかけ、沼の中央の方でものすごく大きい魚(おそらく鯉)が

ジャンプするのが見えたけど、それはサタケ君とカメラの人には内緒。

次のチャレンジに向けて、もっと腕を磨くので、その時はよろしくね。

釣りの後は、春日沼のすぐ下にある五本樋で喉を潤しました。



冷たい水が気持ちいい

エピローグ

こうしてわれわれは、ヌシを釣れなかった悔しさ？を胸に

春日沼を後にしたのであった。

しかし、我々をあきらめない。

今回は圧倒的な技量不足のため、ヌシの捕獲は出来なかったが、

朝日町に沼がある限り、我々はロマンを追い続けていこうと思う！！

沼のヌシ釣り編 完

なお、朝日町には沼やため池がたくさんありますので、

[\(町内には日本のため池 100 選に選ばれたところもあるほど\)](#)

・この沼には、こんな大物がいた！

・この沼のヌシにぜひチャレンジしてくれ！

・僕と(私と)釣り対決をしよう！

そんなリクエストを随時募集しています。

ページ下の書き込みフォームより、ニックネームと連絡先を明記の上

ご投稿いただければ、ウサヒが前向きに検討いたします。